



NANA KUSA

RECRUIT BOOK

社会福祉法人 阪神福祉事業団



CONCEPT

よりそい・きづき・そうぞうする

よりそい

人と関わるのが好き、人の役に立ちたい、
人を支える仕事がしたい。
あなたなりの「福祉への想い」を胸に抱いて
利用者さまに「寄り添う」ことから
福祉のプロとしてのあなたが
スタートします。

きづき

利用者さまと同じ時間を過ごす中で
個性、心身の状態、生活上の課題など
たくさんの方に「気づく」ようになります。
利用者さまと真摯に向きあうことで
あなたはきっと新たな可能性に気づく
ことができるはずです。

そうぞうする

利用者さまへの気づきから自分には何が
できるのかを「想像」し「創造」していきます。
相手を想い、試行錯誤して取り組んだことから
「笑顔」や「ありがとう」が生まれる。
そんな心を揺さぶられる体験が
あなたの「人間力」を育みます。

「よりそい・きづき・そうぞうする」福祉の仕事をより深く感じることができるのは、
様々なライフステージで、24時間、365日、利用者さまの生活のサポートに
携わることができる入所型の福祉施設の大きな魅力です。





VOICE
1

小田 裕基
Yuuki Oda

2年目
救護施設

1. 利用者さまとの1番の思い出は何ですか？

私が1年目の時、担当させていただいた利用者さまが何をするにも「めんどくさい」と話される方でした。最初は戸惑いましたが、「なぜ？」を考え、コミュニケーションをとるにつれ次第に地域で生活したいという願いに気がつきました。実施する生活訓練一つひとつの意味を説明していくうちに、利用者さまも「地域に出るために頑張るわ」と積極的に参加されるようになりました。諦めずに利用者さまと関わっていく大切さを学んだときでした。

2. 職員としての今後の目標は何ですか？

1年目の頃は仕事を覚えることに必死なのと、先輩職員に追いつきたくて業務をこなしていく忙しい日々でしたが、次第に余裕が出始めて少しずつ周りの事も見えるようになってきました。最近では自分から意見やアイデアを考え、提案する機会も増えてきてやりがいを感じています。今は自分が先輩職員になっているので後輩職員への手本になれるよう、様々なことに挑戦していきたいと思っています。

3. 休日のリフレッシュ方法は何ですか？

私はインドナタイプなので休日は家でまったり過ごすことが多いです。部屋の掃除や買い物、料理など家事を一通り終えたら、ラフな格好に着替えて、炭酸水を片手にゲームや録画していた番組、YouTube等を見て一日を過ごします(笑)友達と予定が合う日には大阪や神戸で遊んで、ご飯を食べ、リフレッシュをしています！学生の頃と比べて使えるお金も増えたので楽しみもさらに増えて充実した休日を過ごしています！

先輩からのメッセージ

仕事も遊びも全力で！

1. 利用者さまとの1番の思い出は何ですか？

以前担当させていただいていた利用者さまが全盲、聴覚障がいのある方で、昔のトラウマから風が吹くところが苦手で、外に出るのにも多くの時間が必要でした。しかし、フロア職員みんなで支援方法を試行錯誤した結果、約4年かけて少しずつ足が止まる時間が短くなり、ついには2人で近所まで買い物に行くことができるようになりました。途中で足が止まりかける場面もありましたが、無事に園まで帰ってこられたときには、安堵感と利用者さまの頑張り胸がいっぱいになりました。

2. 職員としての今後の目標は何ですか？

今後の目標は3つあります。1つ目は今までの経験に縛られることなく、様々な視点から利用者さまの言動に対し「なぜ？」「どうして？」と疑問を持ち、やりたいこと、伝えたいことは何なのか考えることができる職員でいることです。2つ目は利用者さまの笑顔が少しでも増えるような支援をすることです。3つ目は利用者さまの生活や表情の変化にとってもやりがいを感じる仕事だと私自身は思っている、ぜひ色々な方に利用者さまの素敵な姿や支援内容を伝えていく存在になることです。

3. 阪神福祉事業団のアピールポイントは何ですか？

すべて入所の施設だからこそ、職員と利用者さまとの関係性が深まり、一日を通して利用者さまの様々な姿を見ることができると、新たな一面を発見することもあります。また、新任の時は初めてのことで不安もあると思いますが、新任研修や指導員制度が充実しているため、安心して仕事が始められる環境が整っていることもポイントです。私自身、指導員の先輩にはたくさんお世話になりましたし、相談することも多くとても心強かったことを覚えています。

先輩からのメッセージ

ぜひ一緒に笑顔あふれる
お仕事をしましょう！

VOICE
2

手柴 裕花
Yuuka Teshiba

5年目
障がい者施設



VOICE
3山口 涼香
Suzuka Yamaguchi5年目
高齢者施設

1. 利用者さまとの1番の思い出は何ですか？

新人のとき、同性職員が苦手な女性利用者さまとコミュニケーションが取れず、悩んでいましたが、先輩職員からアドバイスをいただいたり、出勤した時は挨拶をするようにして、自分から積極的に話しかけることを続けていると、ある日利用者さまから話し掛けに来てくださり、「お姉ちゃん」と呼んでくださるようになりました。利用者さまが私に心を開いてくださったことが、いちばん思い出に残っています。

2. 職員としての今後の目標は何ですか？

私が勤務する施設では、認知症を有する方とのコミュニケーション技法である「バリデーション」を学び、支援に取り入れています。利用者さまの行動やお話しされる内容から、利用者さまの理解を深めるためにも、このバリデーションについて深く学びたいと考えています。また、利用者さまやご家族から「担当職員が山口さんで良かった」と言っていただけるようにしっかりとした接遇を行い、福祉のプロとして頑張りたいです。

3. 阪神福祉事業団のアピールポイントは何ですか？

利用者さまとの関わりを大切にしているところです。利用者さまがこれまで経験されてきたことや、歩んでこられた人生は様々です。一人ひとりに合わせた支援内容を考え、生き生きとその方らしく生活していただけるように心がけています。福祉の仕事は「大変だ」「しんどい」とイメージされるかもしれませんが、利用者さまから「ありがとう」と言っていたらと疲れが吹き飛びます。

先輩からのメッセージ

社会と生活を 私達と一緒に
楽しんで！😊

1. こどもたちとの1番の思い出は何ですか？

施設のイベントでこどもたちと「コント」をしました。台本作りから真剣に考え、こども自らがやりたい内容も決めました。本番はすごく緊張しましたが、見ている方々の反応はとても良く、みんな笑顔でコントを終えることができました。本番が終わり、たくさんの人から「すごい良かったね！」と言われ、嬉しそうな顔のこどもを見て、頑張った良かったと心の底から感じました。この体験は私にとってかけがえのない財産になりました。

2. 職員としての今後の目標は何ですか？

こどもたちの心に寄り添えるようになりたいです。ただ、こどもたちの言うことを受容するだけではなく、受容した上で、私の意見や感じたことをしっかり伝えられるようになりたいです。また、こどもたちが「何を感じているか」、「どのような問題を抱えているのか」を寄り添って理解していきたいです。そのため対人援助技術等の専門的な技術の勉強や精神保健福祉士といった資格取得も目標に頑張っています。

3. 休日のリフレッシュ方法は何ですか？

休日は友人や施設の先輩、同期とご飯を食べに行くことが多いです。私は人とコミュニケーションを取ることが好きなので、ご飯を食べながら仕事や趣味のこと等を話して楽しく過ごしています。また、身体を動かすことも好きなので、事業団で行われている、クラブ活動にも参加しています。職員同士の仲がとてもいいので休日も盛んに交流しています。

VOICE
4井谷 健太郎
Kentaro Itani2年目
児童施設

先輩からのメッセージ

やりがいがある仕事なので頑張ろう！

📝 ななくさの仕事を知る JOB

🕒 1日の業務 スケジュール



Ⅰ 引き継ぎMTG

夜勤者から利用者さまの夜間時の様子について情報共有を行います。夜間、何か問題はなかったか、利用者さま個々の状態はどうかを直接顔を見て申し送りすることで、より細かな状態を把握することができます。

START →

起床



6:00



7:00



8:00



9:00

夜勤業務・
仮眠



21:00

20:00



19:00



18:00



余暇

夕食

記録業務

Ⅰ 夜勤業務・仮眠

利用者さまのお休みの準備をお手伝いし、利用者さまがお休みになられてから事務作業等を行います。また交代で仮眠をとります。



Ⅰ 記録業務

日中の様子を記録としてデータに残します。正確な記録を残すことが、より良いサービスにつながります。

🌟 地域交流イベント

地域の方々と積極的にかかわり、地域に向けた情報発信やボランティアの方を招いてのイベント等を開催しています。

楽しいイベントが
盛りだくさん！

認知症キッズサポーター養成講座



ふれあい年忘れ演芸会



展示販売



利用者さまの作品

Ⅰ 日中活動

利用者さまと一緒に日中活動に励みます。日中活動では利用者さまの生活の質や自立心を高めるとともに、社会参加へとつながっていきます。



Ⅰ 昼食

利用者さまお一人ずつに合わせ、「おいしく」「楽しく」を考え食事のセッティングを行います。食事が少ない方がいないかをしっかり確認。嚥下に問題がある方、介助が必要な方には職員が付き添います。



日中活動

昼食



引き継ぎ MTG



余暇

ティータイム

お風呂

Ⅰ 引き継ぎ MTG

遅出勤者へ利用者さまの体調面や午前中の様子等の情報共有を行います。

Ⅰ 余暇

テレビを見たり、音楽を聴いたりしながら自由に過ごされています。



Ⅰ お風呂

利用者さまの入浴のお手伝いをします。一人ずつ安全に気持ちのよい入浴ができるように、職員が見守りやサポートを行います。



福利厚生について EMPLOYEE BENEFITS

阪神福祉事業団では、利用者さまの幸せと同時にスタッフ全員の幸せも大切にしています。

その取り組みとしてワークライフバランス（仕事と生活の両立）を常に考え、あなたのキャリアと人生を応援します。

ワークライフバランス

勤務時間	シフト制 週38時間45分
休日	年間121日
休暇等	有給休暇(採用時10日) 結婚休暇等各種休暇制度あり。 育児休業は最長3年間取得可能です。
子育てサポート	妊娠中及び出産後、子が3歳に達するまで勤務シフトを日勤のみとする育児支援制度があります。

各種サポート制度の充実

就職準備金の補助	社会人生活のスタートに際し、転居し、借家等を借りる場合は、引越し費用・敷金等の2/3を補助します。
新任職員指導員制度	先輩職員が、マンツーマンで仕事・生活上の相談を受け、またアドバイスします。
資格取得助成制度	社会福祉士等国家資格の取得に際し、通信教育や受験料の一部を助成します。また合格された際にはお祝い金が支給されます。
奨学金返還助成制度	在学中に貸与された奨学金の返還について、一部返還額を助成します。(就職後5年間)



社会福祉法人 阪神福祉事業団

